



学校だより

かけ橋

パート IV

横須賀市立汐入小学校 校長室

2014. 12. 18

No. 19

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

非行防止教室

12月11日（木）、非行防止教室が行われました。県教委からの声掛けに、緑ヶ丘女子高校が応えて、本校の子どもたちを対象に実施しました。神奈川新聞でも報道されたので、ご覧になった方もいらっしゃると思います。

当日は、2校時目に低学年、3校時目に高学年が、図書室で万引防止の紙芝居を見ました。紙芝居を始める前に、手遊びをやって、子どもたちの集中を高めたり、紙芝居の途中で、質問コーナーを取り入れて、一人ひとりに考えさせる場面を作ったり、工夫していました。



緑ヶ丘高校の幼児教育コースの生徒さんなので、子どもたちへの対応がとてもうまく、みんな最後までしっかりと話を聞くことができました。

終了後、お礼のお手紙を書きましたが、一人ひとり自分の思いをしっかりと書いていました。学年の順に読むと、

汐入の子どもたちの成長を感じることができます。

(読みやすくするため、漢字を使っています。)

【1年】「おかげで、していいことや悪いことがよくわかりました。万引がやっちゃいけないわかりました。わすれません。いい一日すごしてください。」

【2年】「万引をすると、お店の人にすごく怒られて、おうちの人にも迷惑をかけて、大変なことがわかりました。」

【3年】「私は、みなさんの声が一番心に残りました。なぜかと言うと、ちゃんと後ろの席の人まで声が届いていたことと役に合わせた声をしていたからです。」

【4年】「私は、みなさんの紙芝居を見て、すごいと思いました。どうしてかと言うと、セリフを言いながらも、少し動作も入れて、その人になりきっていたからです。私もいつかあんなふうなお姉さんになりたいです。」

【5年】「マンガでできていたので、わかりやすかったです。4人のセリフの言い方が上手で面白かったです。ナレーターの人はずっとしゃべっていたので、のどが心配でした。大丈夫でしたか？」

【6年】「私は、万引をしても犯罪だし、手伝ったり、万引したものをもらったりしても犯罪になることがわかりました。品物を盗まれた店の店長さんの気持ちは、とても悲しい気持ちなんだと思いました。」

持久走週間

12月1日～12日まで、毎年恒例の持久走週間でした。今年も子どもたちだけでなく先生方の元気に走る姿が見られました。



中休みの10時20分～30分まで、準備体操をして、5分間走り続けます。走り続けることによって、寒さに負けない丈夫な体をつくることを目的にしています。準備運動の音頭とりは、6年生から順番に各学年でやります。もちろん、1年生も上級生がやったのを見習ってやります。

高学年が外周約140メートルを走り、低学年が内周約100メートルを走ります。学年に応じて、1日に走るめやすが決められています。また、走りすぎを防ぐために、走っても良い最高の距離も決められています。